



医療法人幸生会

琵琶湖中央リハビリテーション病院

Biwako Central Rehabilitation Hospital

日本医療機能評価機構認定病院 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

地域とともにつなぎあい  
患者とともに歩む医療

# 病院だより

第149号  
2023/6/15

## 回復期リハビリテーション病院における 薬物治療

回復期リハビリテーション病院では、脳血管疾患や運動器疾患等の急性期治療を終えた患者さんが社会に戻るために、多職種が連携して一定期間集中的にリハビリを行って日常生活動作（ADL）の向上・維持を図ります。患者さんの多くは高齢であることに加え、複数疾患に罹患しているため、たくさんの薬を服用されていることがあります。なかには必要以上に多くの薬を服用していて、それによって副作用・相互作用のリスクが高まっている、いわゆるポリファーマシーと思われる患者さんもいらっしゃいます。飲んでいるお薬が5種類を超えると意識障害やふらつき・転倒など有害事象が増えるという研究結果が報告されています。

急性期病院では、治療上、薬が変更・追加になることが多いです。しかし、回復期リハビリテーション病院に入院する患者さんは疾患の治療をほぼ終了しており、状態が安定していれば減量・中止できる薬もあります。例えば、脳血管疾患では、急性期に予防的に処方された抗凝固薬や、一時的に不穏状態が出現したことで追加された抗精神病薬や抗うつ薬などがそれに該当します。特に、薬剤による眠気や日中の活動性の低下によってリハビリやADLに支障が出ていると考えられる場合

は、積極的に漸減・中止を考慮する必要があります。骨折では、鎮痛薬や制酸薬なども、その対象となりえます。

リハビリを実施し次のステップに進むことにより要らなくなったお薬を「引き算」する時期が回復期なのです。

薬剤師 佐敷 暢子

### 「引き算」の薬物治療



回復期リハビリテーション病院入院時に服用・使用している薬剤



症状の改善によって不要となった薬剤



必要な薬剤

# カヌーワイルドウォータージャパンカップ ～第1戦・第2戦～

## 奥田翔悟選手 優勝!

〈 戦 績 〉

- 2018 カヌーワイルドウォータージャパンカップ最終戦 優勝
- 2018 カヌーワイルドウォーター日本ランキング1位
- 2019 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第2戦 優勝
- 2019 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第3戦 優勝
- 2019 カヌーワイルドウォータージャパンカップ最終戦 優勝
- 2019 カヌーワイルドウォーター日本ランキング1位
- 2021 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第1戦 優勝
- 2022 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第1戦 優勝
- 2022 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第2戦 優勝
- 2018～2023  
カヌーワイルドウォーターナショナルチーム A代表
- 2023 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第1戦 優勝
- 2023 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第2戦 優勝



4月23日に新潟県三条市五十嵐川特設カヌー競技場で行われました2023カヌーワイルドウォータージャパンカップ第1戦において優勝することができました。

今大会は2023年度ナショナルチーム第3次選考レースということで、日本代表チームの最後の1枠を決める大会でした。コース距離は約2.8kmと国内で最長のコースで、さらに雪解け水で川は増水しており、難易度は高めです。レース中も何回かバランスを崩したり、イメージしていたラインからズレてしまったりミスをしてしまいましたが、最後のラストパートで巻き返すことができました。

これに続き、5月14日岡山県旭川特設カヌー競技場で行われました第2戦においても優勝することができました。

今年度のジャパンカップは最終戦を含めると新潟、岡山、青森、岩手、山口の5大会あり、各大会で順位に応じてポイントがつかめます。最終的な合計ポイントで日本代表選手を決める選考を行います。

まずは初戦・第2戦と優勝することができ、よいスタートを切ることができました。

2025年に滋賀県で開催される「第79回国民スポーツ大会」に向け、さらに成長できるように頑張ります。

これからも応援よろしくお願いたします。  
事務 奥田 翔悟

〈カヌーワイルドウォーター競技って?〉

選手は1人ずつ1分間隔で順番に発艇し、スタートからゴールまでの急流を漕ぎ下りタイムを競う競技です。障害物となる岩や流れを読み、いかに速く漕ぎ下るかがポイントです。



私達とともに  
皆さまの熱い声援を  
お願いします!



◎青空の下 気分爽やかに◎

# 園芸プロジェクト

春も終わりに近づき、新緑が芽吹く4月の末、夏の収穫に向けて野菜の植え替えをしました。

今年チャレンジしている野菜は、じゃがいも、トマト、ゴーヤ、きゅうり、ピーマン、スイカ、エダマメ、イチゴです。たくさんの患者さんが、耕す・脇芽取り・水やり・種芋や苗植え等、それぞれのできる範囲で植え替え作業に参加して下さいました。

また、病室でかわいいプラカードを作成して下さいました。(写真参照：右)

以前行っていた農作業の練習をしたい方、経験はないけれど手先の作業の実践的な練習をして欲しい方、リハビリでやっとしゃがめるようになったことを活動を通して実感して欲しい方、園芸には参加できないけれど間接的に協力して頂き、役割を担って欲しい方など、園芸活動を患者さんに導入する動機はそれぞれです。作業療法士の専門的な視点で、患者さん一人ひとりに必要な要素に対しての介入を、園芸活動を通じて行っています。



病室に居るとなかなか感じることでできないポカポカ陽気の中、皆さん楽しみながら園芸活動を行って下さったと活動に付き添った作業療法士から聞きました。様々な患者さんから、「次は何植えるの?」、「そろそろ支柱立てた方が良いよ」などの関心の声を頂きます。夏にはたくさんの野菜が収穫できるよう、これからもみなさまお力添えよろしくお願い致します。

作業療法士 山本 紘平

# お茶の間教室「はつらつサロン」

## ●旧谷口酒店(松本町サロン)の皆さんと●

4月も終わりを迎えようとしている雨の日、旧谷口酒店(松本町サロン)の皆さんと、体操を通じてほんわかした時間を過ごすことができました。

旧谷口酒店(松本町サロン)は、旧東海道沿いにあり歴史深い街並みの中で、立ち上がりから2年目を迎えるフレッシュなサロンです。

立ち上げ当初から、時折お邪魔させていただき皆さんに暖かく迎え入れていただきました。このサロンは、元々の酒屋の店舗を活用して、毎週火曜日にDVDの体操を熱心に取り組んでおられます。このサロンの見どころは他にも地域の人々から寄せられた貴重な切手や銅板作品、戦前からの地図の掲示等が展示されており、旧東海道を散策する旅行客の目を楽しませています。

今回は、いつも行っているDVD体操の解説を交えながら、どんなところに留意して体操すればより効果的なのか、この体操は筋肉のどの部分に効いているのか、理学療法士から詳しく解説を行いました。「今まで何気なく行っていた体操も、こうして意識すれば、また違うな」との声が聞けて嬉しくなりました。

社会福祉士 上嶋 美由紀



### 【病院理念】

慈(めぐみ)の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

### 【基本方針】

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。

### ♪あしあと♪

読みやすい紙面作りを心掛けておりますが、地域の皆さんに向けてスタッフからの自薦・他薦原稿が続々と集まり記事数が増え文字が小さくなっていました。この度、記事をシンプルに配置し文字の拡大を図りました。いかがでしょうか。皆さんからのご意見で「病院だより」はどんどん進化していきます。(健康福祉事業課)